

常設展 和本紐解

和本を形づくる装訂をはじめ、書型や写本、版本など本のさまざまな形態をご紹介します。
書誌学の入門としてはもちろん、和本に親しみ、魅力を感じていただく機会となれば幸いです。

【A. 装丁】

書物の製本の仕方を装丁といいます。和本の装丁は「糊」と「糸」を使ったものに分けられます。

* 糊を使う装丁



卷子本



折本



旋風葉



粘葉装

* 糸を使う装丁



列帖装



大福帳



袋綴(四つ目綴・康熙綴・麻の葉綴・亀甲綴)

【B. 書型】

本の大きさ・かたちのことを書型といいます。



懐中本



豆本



一枚物



畳み物



貝多羅

【C. 写本】

印刷された版本に対し、手で書かれた本を写本といいます。



奈良絵本



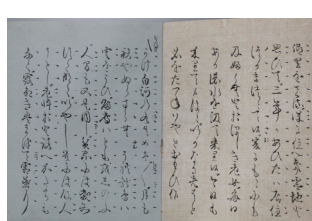
臨模本

【D. 版本】

版本は、活字を用いる「古活字本」と板に彫刻した版木を用いる「整版」に分けられます。



多色摺り



嵯峨本



丹録本

* 展示資料は、資料保護のため、その都度変更しております。